

☆ プロセスのどこの部分を改善するとどの程度コストダウンが可能なのか？

セミナーNo.405111

☆ 固定費、変動費のコスト計算手法 ☆ 具体的なコスト削減箇所、削減の取り組み事例



化学プロセスのコスト削減

～どこを検討すれば効率的にコスト削減できるか？～

- 日 時: 2024年5月8日(水) 10:30~16:30 ● 聴講料: 1名につき 55,000円(消費税込、資料付)
- 会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)]
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

● 講師: アンリ・コンサルティング 代表 薬学博士 森川 安理 氏

【講座主旨】 新規合成法を確立して化学製品の製造プロセス検討を行う目的は、製造コストを削減することです。コスト削減のターゲットは無限にあると言っても過言ではありません。しかしながら、コストダウンに避けるリソースには限りがありますので、どこの部分の改善が最も効率的にコストダウンできるかを知ることが非常に重要になってきます。これを知ることができるとコスト計算です。

本講座では、まず固定費を含めた実生産時のコスト計算の方法を解説します。変動費については、パラセタモールを例に二つのプロセスでのコスト計算例を紹介します。固定費については、製品の生産量によるコスト変動について詳述いたします。これらの基本をご理解いただくと、プロセスのどこの部分を改善するとどの程度コストダウンが可能なのか自ずと明らかになります。

最後にブロックバスターと呼ばれる合成新薬のプロセス改良がどこを視点にどのようになされているのかについて解説します。

受講者には、この講座を通してコスト削減を目指したプロセス改善の胆をご理解いただき、業務の改善に役立てていただきたいと思います。

【講座内容】

1. コストの計算とその削減方法

- 1.1 コスト計算方法 1 (変動費:PC)
 - 1.1.1 原料単価の調べ方
 - 1.1.2 パラセタモールの変動費計算(2種プロセス)
- 1.2 コスト計算方法 2 (固定費:FC)

- 1.3 生産量とPC、FCの関係
 - 1.3.1 0.6乗則を使った固定費コスト計算
- 1.4 化合物の価格決定メカニズム
- 1.5 固定費、変動費削減の原則

2. 具体的なコスト削減方法

- 2.1 溶媒回収による溶媒コスト削減
- 2.2 排水規制と排水処理コストとその削減
- 2.3 エネルギーコストとその削減
- 2.4 貴金属触媒コスト削減
 - 2.4.1 固体貴金属触媒のコスト削減
 - 2.4.2 可溶性貴金属触媒のコスト削減
- 2.5 連続プロセス導入による固定費コスト削減
- 2.6 その他の固定費コスト削減方法

3. 特許から見る企業のコスト削減プロセス研究例 (プロセス化学者はどこに注目したのか)

- 3.1 Sitagliptin
- 3.2 Ibrutinib Rivaroxaban
- 3.3 Ritonavir
- 3.4 Rivaroxaban
- 3.5 Apixaban

【質疑応答】

講師略歴

1977年3月 東京大学 大学院 理学系研究科 有機化学専攻 卒業
1977年4月 旭化成株式会社 入社
入社後、スクリーニング化合物の合成、プロセス化学研究に一貫して従事。この間薬学博士号取得(東京大学)。
その後、医薬原薬製造工場の工場長を10年経験、化学品、医薬原薬、治験薬等の生産を経験。
2009年-2012年 九州保健福祉大学薬学部 非常勤講師(一般化学、生物有機化学)
2013年2月 旭化成株式会社 退社
2013年3月 アンリ・コンサルティング 代表 個人事業主として技術コンサルタント業開始

セミナー申込書

「化学プロセスコスト削減」セミナー No.405111 5/8

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-5080)にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080

● 申込方法

- 1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- 2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 4. 定員になり次第、申込みは締切となります